

T.M.P. NEWS

VOL.62 2023.冬

T.M.P.

新年あけましておめでとうございます。

皆様にとりまして、本年が一層健やかな年になることを心よりお祈り申し上げます。

アメリカがインフレ退治に躍起になっています。バイデン政権はコロナ禍で猛烈に財政出動を行ったそうですが、薬が効きすぎて需要が増え、ウクライナや中国などの物不足も重なった事で、インフレ率が急上昇したという事でしょうか。バイデン大統領がアクセルをふかし、FRBが慌てて急ブレーキをかけるちぐはぐさは、傍から見ているとおもしろいです。

一方でバブル崩壊以降、コロナ対策以外に目立った財政出動を行ってこなかった日本に30年近く住んでいると、財政を出動すると需要が増えるという当たり前の事実、純粹に驚かされました。今年こそは、岸田さんには頑張ってアクセルをふかしてもらい、日本を元気にしてもらいたいものです。

一方で弊社もご多分に漏れず物不足で悩んでおります。材料の納期遅延の情報が日々入っており、病院への供給義務を果たさなければならない弊社にとって、緊張の日々が続いております。長引くデフレ下で物があることが当たり前であったため、物が不足してみると、改めて、自分は誰かのお陰で生かしてもらっている事に気付かされます。

どなたが言ったかは忘れましたが、人間の最大の発明は分業だそうです。弊社も今年一年、誰かの為に、良い製品をお届けしたいと思います。

株式会社東海メディカルプロダクツ
代表取締役社長 筒井康弘

追伸

昨年弊社製品が「2022年度グッドデザイン賞」を受賞いたしました。この賞は日本デザイン振興会が主催する日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組みです。この受賞に恥じないよう、今後とも患者に優しく、医療関係者にとって使いやすい医療機器開発に努めます。



GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞



SMACONNE
TMPスマートコネクタ®

2022年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)受賞

この度当社は、新製品である『TMPスマートコネクタ®』にて、2022年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞致しました。

TMPスマートコネクタは、カテーテルをより有効に使用していただきたいという当社の強い思いから生まれました。医療現場の先生方から伺った「カテーテルの長さ不足で苦勞する」「デバイス保持が大変」などの不都合や不便性の声に、少しでもご負担を減らせられないかと思案して製品化に至ったものです。その中で採用したアタッチメント式デザインは、Yコネクタを単なる接続機器に留めず、治療のトレンドに合わせた機能拡張や形態変形を可能にするものであり、Yコネクタに更なる発展性を付与するものと考えています。

今回の受賞は、医療現場からの声をもとに開発した点が評価されたと考えています。常日頃よりご意見、ご指導いただいております先生方に改めてお礼を申し上げます。今後も医療現場に寄り添う意識で、先生方そして何より患者様のお役に立てる医療機器をご提供できるように製品開発に精進してまいります。(加藤宏成 記)



〈グッドデザイン賞 審査委員の評価コメント〉

カテーテル治療で使用されるYコネクタの「デバイス接続」という基本機能はそのままに、デバイスの保持を容易にするホルダ、バルブ開閉を指先操作からハンドリング操作に切り替えるレバーなど、アタッチメント式による機能拡張というアプローチや、強度と指先での保持性の向上を兼ねた円形リブなど、きめ細かいユーザビリティの向上が図られている。花卉形状のプッシュ部を際立たせるオレンジ色も、背景となるオペ室に手術着などの青系が多いことを考慮した補色とするなど、医療機器、医療現場に関する深い知見を反映した優れたデザインである点を評価した。

会社見学にお越しになりました



2022年10月25日
伊野彰洋様
(財務省
東海財務局 局長)
奥村勝様
(秘書係長)

スタートアップ国際シンポジウムに参加するフランスの大学関係者 来訪

愛知県立大学および愛知県立芸術大学を運営する愛知県公立大学法人主催で、スタートアップ国際シンポジウムが2022年12月17日に名古屋市内で開催され、欧州の中でもスタートアップへの取り組みが先進的なフランスの大学関係者が講演者として招聘されました。

スタートアップとはアメリカで使われ始めた言葉で、一般的には起業や新規事業の立ち上げを意味しますが、革新的なアイデアで短期的に成長する企業(例: Google、Amazon等)を指します。

その開催に先立ち、シンポジウムに参加するフランスの大学関係者の方々が、2015年に「EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2015ジャパン」において大賞、2016年にモナコ公国モンテカルロで開かれた世界大会「EYワールド・アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2016」に日本代表として表彰された筒井会長との意見交換のため、当社名古屋本部を来訪されました。

日本の伝統文化である御茶を茶室で振る舞いながら、日本とフランスでの起業や新規事業の立ち上げについて、様々な角度で意見交換をいたしました。その後、ガーデンレストラン 徳川園に場所を移し、食事を楽しみながら親睦を深めました。



「EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2022 ジャパン」東海北陸大会

2022年10月13日、「EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2022 ジャパン」東海北陸大会が名古屋マリオットアソシアホテルで開催されました。新型コロナウイルスの影響で久しぶりのリアル開催となりました。

EY・アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーは、成長の可能性を持つアントレプレナーの活動を奨励し、先見性、リーダーシップ、功績により人々に希望を与えるアントレプレナーの貢献をたたえるグローバルな表彰制度で、世界約60カ国、145を超える都市における国と地域において行われております。

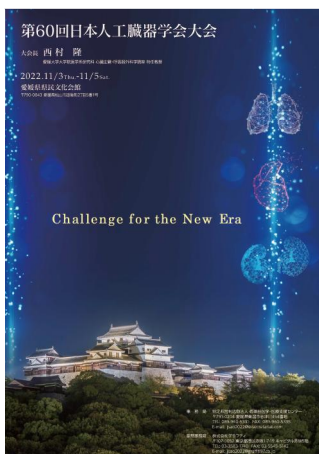
大会内の過年度受賞者によるトークセッションに、日本代表として2016年「EYワールド・アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2016」にて優秀経営者として表彰された筒井会長がパネラーとして登壇し、当時の日本大会・世界大会の様子を話すと共に、これから日本大会に挑む方々を激励しました。



第60回日本人工臓器学会大会「Yoshimi Memorial T.M.P. Grant」

2022年11月3日～5日、愛媛県県民文化会館にて第60回日本人工臓器学会大会(大会長:愛媛大学大学院医学系研究科 心臓血管・呼吸器外科学講座 特任教授 西村隆先生)が開催されました。

この人工臓器学会には、民間の協力を得て将来発展が期待される日本発の全く新しいidea、萌芽的研究を掘り起こし、これらの研究に対して助成を行う制度(Grant)があります。通常は会社名を冠する Grantですが、特別に許可をいただき、夭折した筒井夫妻の次女の名前を冠し、



「Yoshimi Memorial T.M.P. Grant」として、1996年から開始して今年で27回目です。

総会・評議員会の場で表彰式が執り行われ、「在宅で簡便な血行動態モニタリングを可能とするスマート植込み型補助人工心臓の開発」を研究されている東洋大学理工学部生体工学科 信太宗也先生への表彰を行いました。

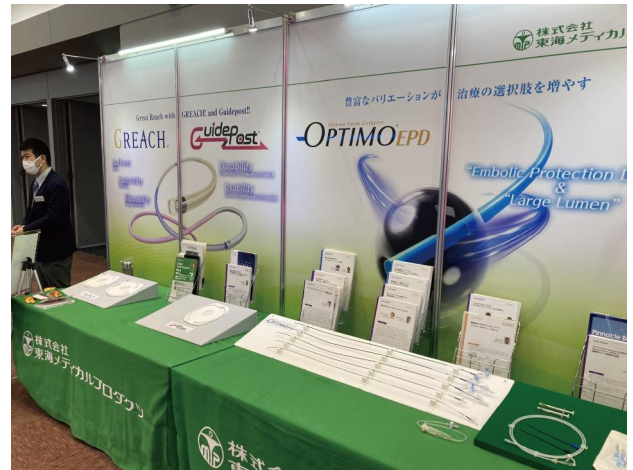
第38回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会(JSNET)

第38回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会(大会長:独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 脳神経外科 藤中俊之先生)が、2022年11月10日～12日の3日間にわたり、大阪国際会議場にて開催されました。本年も昨年同様、現地会場とWEB視聴のハイブリット形式での開催となり、延べ約3,200名を超える方々が参加されました。

当社は現地会場にて機器展示、共催セミナーを実施させていただきました。機器展示ブースでは『OPTIMO®』『Guidepost®』『GREACH®』をメインに展示させていただき、多くの先生方にお立ち寄りいただきました。

10日の共催セミナーでは「CASのプロテクションを考える」というテーマにて、座長に宮地茂先生(愛知医科大学病院)、演者に小林英一先生(国立病院機構千葉医療センター)、竹内昌孝先生(西湘病院)をお招きし、ご講演いただきました。多くの先生方にお越しいただいて会場は満席となり、大盛況で終わることができました。

最後になりますが、機器展示ブース、共催セミナーともにコロナ禍にも関わらず多くの先生方にお越しいただき、誠にありがとうございました。現地にていただいたご意見、ご要望にお応えできるよう国産企業として努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。(NVO営業 田村記)



CCT 2022(Complex Cardiovascular Therapeutics)

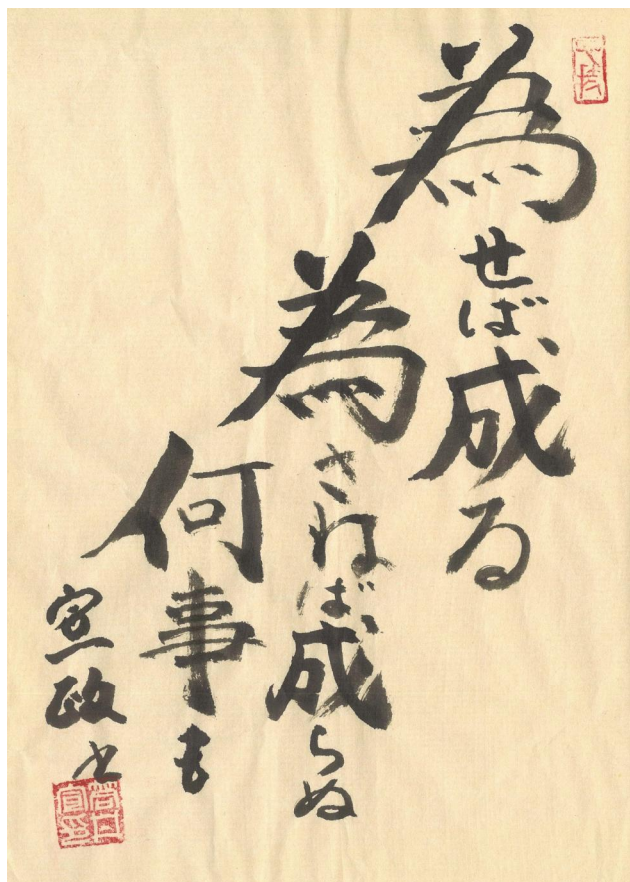
新型コロナウイルス感染症の長期化により、社会構造だけでなく学会の開催の在り方も変化し、2022年10月27日～29日にCCT2022が現地(神戸国際展示場、ポートピアホテル)とWEBのハイブリッド形式で開催されました。

当社は開催2日目、10月28日のPeripheral会場にて、時計台記念病院 丹通直先生より共催プログラムFlash Presentation「High-potential! ACROSS guidewire series」をご講演いただきました。当社において初めてのEVT領域用ガイドワイヤーであるACROSS®シリーズは、先端部ニッケルチタン、手元部ステンレスの異種金属溶接されたCore wireにより、末梢領域での新しい操作性のガイドワイヤーとなっており、First-Choiceガイドワイヤーとして、先端荷重2gと5gをラインナップしております。丹先生からはACROSS®シリーズの使用感、適応症例を細かくご講演いただき、会場だけでなくWEB配信により多くの先生方に視聴していただくことができました。



今後進化し続けていく治療の中で、国産企業として先生方の要望にお応えし、臨床現場への情報提供を行うと共に、一人でも多くの患者様の安全・予後の改善に結びつくよう製品開発に努めてまいりたいと思います。(CPV営業 前田記)

謹んで新春のお慶びを申し上げます



どんなことでも強い意志を持ってやれば必ず成就するというので、やる気の大切さを説いた言葉で、江戸時代後期、米沢藩主の上杉鷹山が家臣に「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」という歌を教訓として詠み与えたという話は有名です。また、それより以前に武田信玄が「為せば成る、為さねば成らぬ。成る業を成らぬと捨つる人の儚さ」という、よく似た歌を詠んでおり、上杉鷹山はこの歌を変えていったものといわれています。

先天性心臓疾患だった次女・佳美がを何とかして治してやりたいと昭和53年に人工心臓の研究開発を始めましたが、やること全てが初めてのことで戸惑うこともありましたが、それでも「為せば成る」でゼロからイチを作り出し、約50年掛けてイチを何倍にもしてきました。

今の若い社員を見ていると、何も為さぬうちから成らない言い訳をし始めます。何かを成すためには大変なこともあります、その大変さも含めて努力するのが仕事の醍醐味であり、成し得た時の喜びは何ものにも代えがたいものです。これからも「為せば成る」の信念を貫いて経営にあたり、後進の育成・指導をしていきたいと思っております。

筒井 宣政